



ODA

発行：社会福祉法人 沖縄県身体障害者福祉協会 / 編集：北部自立生活センター 希輝々

〒905-0015 沖縄県名護市大南4-8-32-1 / 頒価100円 (会費に含む)

TEL/FAX:0980-54-1559 e-mail:kirara20030501@yahoo.co.jp



ほくぶじりつせいかつせんたーきらら
北部自立生活センター希輝々

やんばらぁ～ねっと



2023年10月^{かつ}54^{ごう}号



JICA のみなさんと集合写真

もくじ

やんばらぁ～ねっと 第54号

- ぴー P2 もくじ
- ぴー P3～P5 さいごーていしやうがいびやうどうけんしやういん なご D E T 障害平等研修in名護
- ぴー P6 じりつせいかつせんたー・えこーとさわかい 自立生活センター・エコーと茶話会
- ぴー P7～8 じゃいかけんしやうせいう い JICA研修生受け入れ
- ぴー P9～P10 こみゅにていぼすうんこうかいし コミュニティバス運行開始
- ぴー P11 ふいーるととりっぶちやうし し かいじよしゃほしやう し フィールドトリップ中止のお知らせと介助者募集のお知らせ
- ぴー P12 すたっふのひとりごと／きらら しよざいちあんない スタッフのひとりごと／希輝々の所在地案内／
せいがいいん さんじよかいいん にやうかい 正会員、賛助会員の入会について



なごし こみゅにていぼす
名護市のコミュニティバス

でいーていしょうがいびようどうけんしゅういん なご D E T 障害平等研修in名護

しょうがいびようどうけんしゅう としょうがいしゃけんりじょうやく、とうじしゃ たいけんたん きょうせいしゃかい むけて いんくるーしぶけんしゅういん なご
を8月26日(土) 会場 21世紀の森体育館第1会議室にて開催し 協力をさせてもらいました。
さんかしゃ なごし ぎいんさん ふくしまかん かんりしゃきょうりよくしゃなどやく めい き
参加者は名護市の議員さんや福祉機関の管理者協力者等約30名あまり来ていました。

まず、「障害平等研修」の成り立ちでは 1980年代のイギリスで人種・民族・男女の性差別や機能障害
などを理由として少数派(マイノリティ)が社会から排除や差別、分離や隔離の対象とされてきた課題の
解決に関して当事者活動が活発となり、1990年代の差別禁止法の法制化に伴う動きと連動し「障害教育」
として発展してきた研修という事と、D E T 沖縄の【平等研修】は、D E T の理念に基づき、機能障
害の問題に特化せず、あらゆる「偏見」や「排除」の意識を生み出す「人間の心理」や「社会の構造」に
着目し、その解決をともに模索・実践してゆくための研修なんだと思いました。
あと、障害平等研修とは障害観について人権、社会的障壁に目を向けながら、その除去をどうやって
していくのか、解決に向けた行動計画をつくる手法を獲得するものだと感じました。



「障害者権利条約」については、ジュネーブに行った自立生活センターイルカの早坂さんの講義で建設的対話や総括所見の話がありました。「総括所見」では、要請・強い要請・(要請)第14条(第10条生命に対する権利関連)については、障害に基づくいかなる形態の強制的な入院や治療もなくし、合意のない精神科治療についてのすべての法的規定を廃止すること等。・(強く要請)第19条については、障害者の入所施設(グループホームを含む)や精神科病院への隔離収容を廃止し、人権モデルに基づく支援とサービスへのアクセスが保障された地域での自立、インクルージョンに移行するための国家戦略策定と都道府県への義務付けを行うこと等。・(強く要請)第24条については、分離された特別な教育をやめる目的で教育に関する国家政策、法律、行政上の取り決めの中で、障害のある子どもがインクルーシブ教育を受ける権利を認識し、すべての障害のある生徒が、あらゆるレベルの教育において、合理的配慮と必要とする個別の支援を受けられるように、特定の目標、時間枠、十分な予算で、質の高いインクルーシブ教育に関する国家行動計画を採択すること等について話をされていました。



インクルージョン(共生)について図を使って説明している様子!説明が分かりやすくてよかった🍀

グループワークの様子!
色々な意見がでていました(*^-^*)

「建設的対話」では、課題・建設的対話は、日本の制度について、国際的視点からの指摘を受けて、これを顧みる貴重な機会。既に事前質問事項もだされており、障害者権利委員会から出される質問もある程度予想し得た。

・その意味では、日本政府は、事前の準備も不足しており、さらに、二日目の審査ではさらに対応できたはず。当日の対応に問題があった。・障害者権利委員会と政府との問題意識の大きなずれを露呈・次回は8年後。しっかりとしたレポートづくりを！のお話がありました。

「障害当事者の体験談」では、主に小中高の特別支援学校や地域の学校でのギャップや経験したことや学んだことなどの話が聞けました。



今回研修に参加して感じたことは、障害を持っている方の生活は地域社会の中で生きづらさを感じたのと、「ジュネーブで多くの人が泣いたキム・ミヨン委員の閉会の言葉」で、人生を通じて権利のために一心に取り組んできた障害者と障害者市民社会団体、そして家族と連絡を取り合い、連携を続けていくことを、この閉会の辞の最後に締約国である日本にお願いいたします。人権の十分な享受と障害者の根源的な自由を認め尊重しその保障のために支援を行うことが唯一の正しい方向です。締約国である日本は、アジア太平洋地域の障害者の平等と権利に向けた国連ESCAPによる第2次障害者の十年を主導してきた世界のリーダーです。権利条約の完全実施によって日本が主導的な国であり続けることを希望しております。との言葉がありました。希望と感動させられました。

じりつせいかつせんたー えこー さわかい 自立生活センター・エコーと茶話会

みなさん、こんにちは(*^-^*)

きららのふーぶーです。

じりつせいかつせんたー えこーしゅさいのさわかい
自立生活センター・エコー主催の茶話会に
ずーむさんか
zoomで参加しました。

つきいちどさわかいさんかしょしゅみはな
月に一度の茶話会では、参加者の趣味の話
や各センターの活動について楽しく話を
しています！zoomを使うことが多くなった
ことがきっかけで、エコーのみなさんと繋
がることができとてもうれしいです。来月の
茶話会も楽しみにしています(*^-^*)

コロナも落ち着いてきたので、みなさんと
たいめんはな
対面で話しをしたいなあと思いました。



みんなと交流できて

うれしいなー(*^-^*)

こんげつはろういーんだ！！



JICA研修生受け入れ

今回、N P O 法人エンパワメント沖縄から、ご連絡を頂き、独立行政法人国際協力機構 JICA 沖縄センターより委託を受け、約1ヶ月間「地域に根差したインクルーシブアプローチによる障害者の社会参加と生計」と題して課題別研修を実施し南米から10カ国の研修生とJICA支援のスタッフや通訳含め総勢14人で伺いたいという依頼がありました。研修は、開発途上国における障害者の社会参加を推進するため、各国において障害者の就労支援や社会参加促進に従事する行政組織やN G Oのスタッフが、生計向上をはじめとした行政や地域、民間団体の連携による支援体制や地域資源を活用した沖縄県の取組み、ならびに他地域の事例を参考に、自国での実施につなげて行くことを目的としています。

当センターの活動紹介では、自立生活プログラムやピアカウンセリング、公共交通機関のバス乗降研修、小中学校での総合学習、障害者虐待防止ワークショップ、子供ふれあい体験の様々な活動の様子をパワーポイントで紹介させていただきました。

研修生からの質問が結構たくさんあり各国で疑問になる事をどんどん聞いてくれたので母国の国を良くしていけるよという意欲が感じられました。



びょういん にゅういんせいかつ じりつせいかつ
病院で入院生活から自立生活
をし 24じかんかいじょかくとく
をし 24時間介助獲得をした事例



自立生活ぷろぐらむで
ちようりをしているばめん
調理をしている場面



おきなわばす りゅうきゅうばす
のしゃいん くるまいすじょうしゃ
のせつごうけんしゅうようす
の接遇研修の様子



なごしこみゅにていぼす 名護市コミュニティバスについて

今回は、みなさんに嬉しい報告があります。

当センターが中心となり、障害の有無に関わらず地域住民みんなが気軽に利用できるコミュニティバスを導入して欲しいと2年間活動してきましたが、その成果もあり名護市として4台のコミュニティバスを試して運行することが決定しました。

運営については、(株)琉球バス交通が関わっているそうです。

運行期間は、令和5年9月17日～令和6年3月31日まで。

まずは、市街地周辺を走行します。

現在はさまざまな情報などを集計し、本格運行に向け取り組んでいる。

こみにていぼす つうしょう まる コミュニティバス(通称なご丸)

なごわん うみと
名護湾の海と
あざ やかな夜明
けの二面性

なごし しんぼる
名護市のシンボル
ひかんざくら

し 市の7つのシンボル
しんぼる
と名護親方

てっぼうゆり
テッポウユリと
ひかんざくら



コミュニティバスの運賃については、
一般が200円、未満学児・高齢者(65歳以上)・障がい者が無料・学生(小・中・高)は100円です。なお、介助者は一般料金と同じく200円となっています。

また、バスに乗るとき、降りるときに本人と確認できるものを運転手に見せることを忘れずに(*^-^*)

車いすの利用者が利用するときは、運転手がスロープを出してくれます。

車いすの固定もスムーズにできていたので安心して乗ることができました(*^-^*)

バス1台につき、車いす1つぶんのスぺースが確保されていました。コミュニティバスの試運行が始まった

ことに満足するのではなく、たくさんの方が利用することで今後の本格運行に繋がると嬉しいです。



目的地に向けていざ出発!
コミュニティバスが運行したことで
行動範囲が広がりました!
これからもたくさん利用するぞ!



フィールドトリップ中止のお知らせについて

広報誌のやんばらあ〜ねっと前号(53号)も一読して頂いたと思いますが、ありがとうございました。

掲載記事のP3に第17回フィールドトリップILPを9月2日(土)に開催案内をしていました。コロナ

感染状況も落ち着き5類になり皆様もお会いするのを楽しみにしていたことと思います。参加申し込みは

174名がありましたが、沖縄県に台風12号が接近した影響で中止とさせて頂きました。その開催に伴う

本土からの協力者や参加者にご迷惑をおかけしてしまい申し訳ありませんでした。開催できなくなり

スタッフもとても残念に思っています。

来年の夏に開催を予定していますので、その時に皆とお会いし、一緒に楽しみましょう！

訪問介護スタッフ大募集♡



資格 訪問介護 経験・資格不問

時間 1日24時間以内で実働6-13時間(夜勤あり)

※週2日～勤務OK その他相談OK

給与 時給1,200円～各種手当(6:00～22:00)

※時給1,500円～各種手当(22:00～翌6:00)

休日 週1～2日(その他相談OK)

待遇 社各種社保完備(月90H以上勤務)

☆処遇改善手当(年3回/10～30万円)

働きやすいアットホームな職場です♡

まずは、お気軽にお問い合わせください。(受付時間 : 9:00～18:00)

TEL 0980-54-1559 Paiなご

編集後記：すたっふのひとりごと



こんにちは。希輝々の事務兼ヘルパーの山内です。

秋といえばスポーツ！私の趣味はスポーツ観戦で特に陸上や相撲、野球を見ています。

昔から巨人ファンで今の推しはキャプテン岡本選手。マイペースで天然な性格ですが、試合中とのギャップが最高！今年は2年ぶりにホームラン王（41本）になる活躍でした👏

守備も上手いんです🥇

だがしかし、チームは4位Σ(°д°||)がー。若手も頑張っていたのに残念。。

来季の指揮官は阿部慎之助監督。コーチ陣も数年前に活躍していた方々。選手会長は県出身の大城選手！

来シーズン期待できます！アレ（優勝）を目指して頑張ってください！（*^0^）！！

沖繩もだんだん涼しくなっています。走るにはいい季節。ランニング再開しようかなー。

北部自立生活センター 希輝々の所在地案内

〒905-0015 沖縄県名護市大南4-8-32(1階)
TEL/FAX 0980-54-1559
E-mail kirara20030501@yahoo.co.jp

CIL希輝々では、正会員及び賛助会員の積極的な参加を募っています。
当会活動のさらなる行動範囲を広げるためにも、ぜひとも当会の趣旨にご賛同いただき、ご協力をお願いいたします。

正会員	新規会員	入会金2,000円(入会時のみ) + 年会費3,000円 = 計5,000円
	既会員	3,000円(年会費のみ)
賛助会員	個人	一口5,000円
	団体	大口10,000円

寄付金は随時受け付けております。

皆様の温かいお志とご協力をお願いいたします。

●振込先 沖縄海邦銀行 名護支店 店番 060 (普通預金) 0621092

●名義 北部自立生活センター希輝々

